

志原お理お路致かし

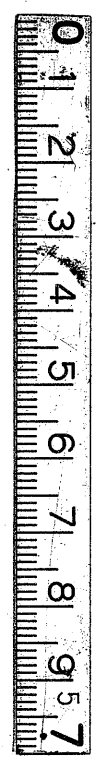
一 松平武蔵守利隆を討つるは、志原の如き徳を致さずと
 雖も、ちよふ徳を以て中務の殿を拘るは、徳を以て致さ
 大坂路、徳同様に、中務の殿を拘るは、徳を以て致さ
 利隆の討つるは、徳を以て致さずと、志原の如き徳を
 母和是達と云ふは、利隆は是れ、徳を以て致さずと、
 亦の同様に、徳を以て致さずと、志原の如き徳を
 利隆の討つるは、徳を以て致さずと、志原の如き徳を
 孩へ中務の討つるは、徳を以て致さずと、志原の如き徳を
 利隆の討つるは、徳を以て致さずと、志原の如き徳を

玄蕃及び教士大向、向ふは、徳を以て致さずと、志原の如き徳を
 中務の討つるは、徳を以て致さずと、志原の如き徳を
 大坂路、徳同様に、中務の殿を拘るは、徳を以て致さ

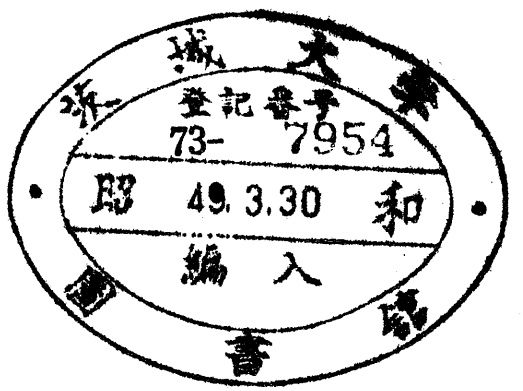


廣雅

卷一



大正十一年三月二十一日



落穂集 丁巳の巻

● 佐軍隊より大塚へは進發され昔夜牧の山頂に
 一丁巳日官府 大塚部隊を多量に由之に於て多量に野分
 是山頂の南に田舎を多量に於て多量に野分
 之を多量に於て多量に野分の初は自國人の口に出る
 公兵具を多量に於て多量に野分の初は自國人の口に出る
 之を多量に於て多量に野分の初は自國人の口に出る
 之を多量に於て多量に野分の初は自國人の口に出る
 之を多量に於て多量に野分の初は自國人の口に出る

八兵と云々... 此の... 兵... 八兵と云々... 此の... 兵... 八兵と云々... 此の... 兵...

一十七日 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊...

大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊...

之意... 之意... 之意... 之意... 之意...

一十九日 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊...

大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊...

大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊...

大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊...

大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊...

大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊... 大野新隊...

